

米国 I S M製造業景気指数 (13年5月)

発表日：2013年6月3日 (月)

～歳出削減や欧州・中国での需要鈍化等を受け、米製造業部門は6か月ぶりに縮小～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

I S M製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
12/05	52.5	57.2	54.1	55.9	46.0	49.2	47.0	47.5	53.5	53.5
12/06	50.2	49.6	52.4	55.7	44.0	49.5	44.5	37.0	47.5	53.5
12/07	50.5	47.5	53.3	53.2	49.0	49.7	43.0	39.5	46.5	50.5
12/08	50.7	48.9	48.9	52.6	53.0	50.2	42.5	54.0	47.0	49.0
12/09	51.6	51.7	51.4	53.7	50.5	50.5	44.0	58.0	48.5	49.5
12/10	51.7	52.8	53.3	52.3	50.0	49.9	41.5	55.0	48.0	47.5
12/11	49.9	51.1	53.1	50.1	45.0	50.1	41.0	52.5	47.0	48.0
12/12	50.2	49.7	52.6	51.9	43.0	53.7	48.5	55.5	51.5	51.5
13/01	53.1	53.3	53.6	54.0	51.0	53.6	47.5	56.5	50.5	50.0
13/02	54.2	57.8	57.6	52.6	51.5	51.4	55.0	61.5	53.5	54.0
13/03	51.3	51.4	52.2	54.2	49.5	49.4	51.0	54.5	56.0	54.0
13/04	50.7	52.3	53.5	50.2	46.5	50.9	53.0	50.0	54.0	55.0
13/05	49.0	48.8	48.6	50.1	49.0	48.7	48.0	49.5	51.0	54.5

(出所) I S M : the Institute for Supply Management

I S M製造業景気指数 は49.0と前月比1.7% ポイント低下

13年5月のI S M製造業景気指数は、49.0と市場予想に反して前月比▲1.7%ポイント低下した。拡大縮小の分岐点である50を6ヵ月ぶりに下回り、製造業が縮小に転じたことを示した(市場予想中央値51.0、当社予想50.0)。

総合指数への構成項目別の寄与度では、在庫(前月比+0.5%ポイント)が押し上げ寄与となった一方、主要な生産(前月比▲1.0%ポイント)や新規受注(前月比▲0.7%ポイント)のほか、入荷遅延(前月比▲0.4%ポイント)、雇用(前月比▲0.02ポイント)がマイナス寄与となり、総合指数は前月比▲1.7%ポイント低下した。

5月は自動歳出削減プログラムによる歳出削減の強化、中国や欧州での需要鈍化、自動車部門での技術者不足などの影響を受け、製造業部門は縮小した。

活動の拡大した業種は 10業種

活動の拡大した業種数は、全18業種中10業種(前月14業種)と減少した。拡大した業種(拡大を続けた業種には下線)は、印刷・同関連支援、非鉄、加工金属、木材製品、家具・同関連製品、アパレル・皮革・同製品、食品・飲料・タバコ、電気装置・同機器・同部品、一般機械、紙製品。一方、縮小した業種はその他製造業、輸送機械、化学製品、プラスチック・ゴム、コンピューター・電子機器、一次金属の6業種(前月3業種)となった。繊維、石油・石炭は変わらず。

新規受注の拡大した業種数は7業種(前月10業種)に減少した。新規受注の拡大した7業種は、印刷・同関連支援、非鉄、加工金属、食品・飲料・タバコ、木材製品、家具・同関連製品、一般機械。一方、縮小した8業種はアパレル・皮革製品、その他製造

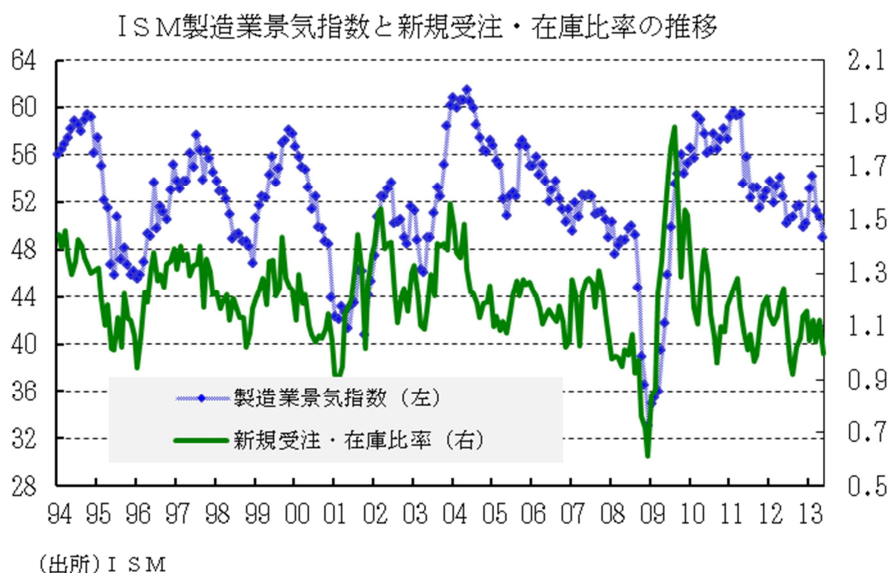
業、プラスチック・ゴム、石油・石炭製品、輸送機械、紙製品、化学製品、コンピューター・電子機器。電気装置・同機器・同部品、一次金属は変わらず。

生産の拡大した業種数は9業種（前月12業種）と減少した。生産の拡大した9業種は、印刷・同関連支援、木材製品、非鉄、加工金属、家具・同関連製品、電気装置・同機器・同部品、食品・飲料・タバコ、輸送機械、一般機械。一方、縮小した5業種（前月2業種）は、その他製造業、プラスチック・ゴム製品、石油・石炭製品、紙製品、コンピューター・電子機器。アパレル・皮革製品、一次金属、化学製品は変わらず。

（注）下線は拡大を続けた業種

ISM製造業景気指数は製造業部門の緩やかな拡大を示す水準を早期に回復する見込み

今後に関しては、歳出削減の影響を受けるものの、米国企業が過剰な在庫や雇用を抱えていないほか、自動車、住宅関連主導で緩やかながらも持続する米国内需要の成長などに下支えされ、ISM製造業景気指数は製造業部門の拡大を示す水準を早期に回復すると予想される。



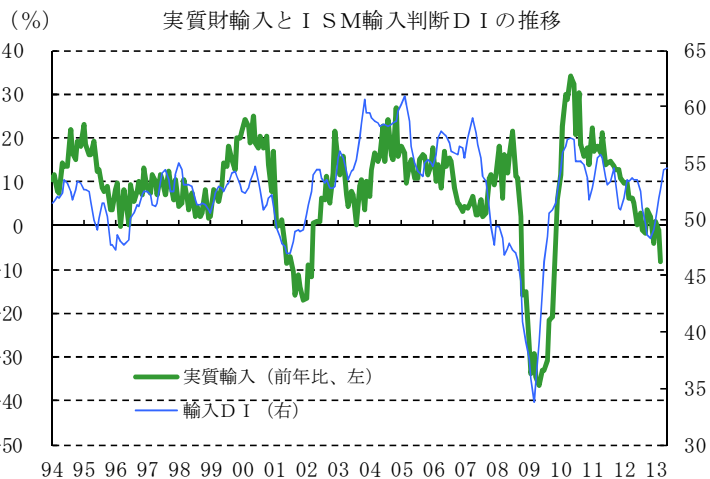
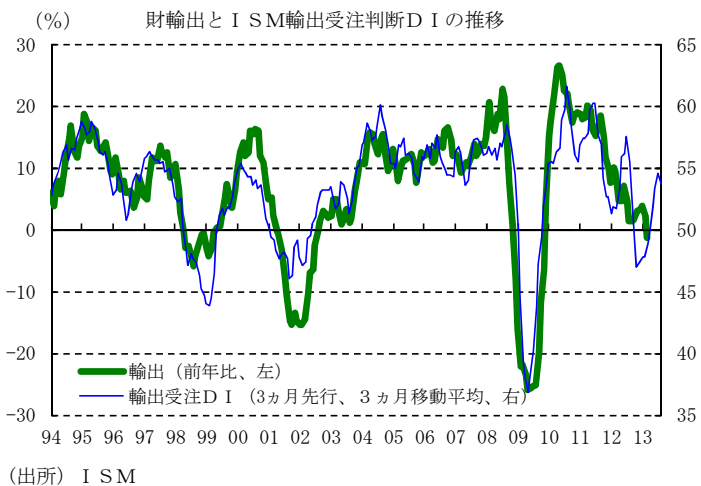
輸出が先行き持ち直すことを示唆

輸出受注DIは、5月に51.0と前月比▲3.0%ポイント低下したものの、拡大縮小の分岐点である50を6ヵ月連続で上回った。世界的な景気回復の動き等を背景に、輸出は先行き持ち直すものの緩やかなペースになることを示唆している。

各国の米国向け輸出は今後加速する可能性

輸入DIは、5月に54.5と前月比▲0.5%ポイント低下した。拡大縮小の分岐点である50を上回っていることから、日本など先進国、BRICS等の新興国の米国向け輸出の拡大ペースが今後加速する可能性を示唆している。ただし、米国のGDP成長率には、マイナス要因となる。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

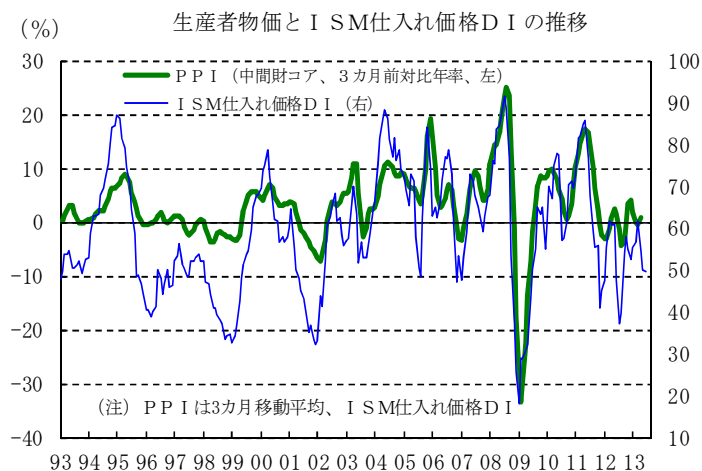
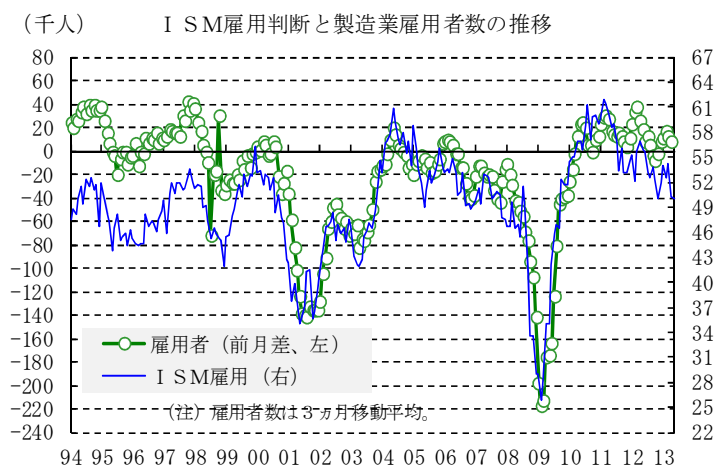


雇用DIは5月の製造業雇用の減少を示唆

雇用DIは、5月に50.1と前月比▲0.1ポイント低下しており、製造業部門雇用者数の減少を示している。今後、米国経済や政策の先行き不透明感、価格競争の激化によるコスト削減圧力を背景に、製造業部門での雇用の回復ペースは鈍い状況が続こう。

仕入価格DIは川中でのインフレ圧力の弱まりを示唆

仕入価格DIは、商品市況の下落やドル高の効果等によって、5月に49.5と前月比▲0.5ポイント低下したうえ、水準も低いことから、川中でのインフレ圧力はさらに弱まると判断される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。